

## ぎふ農業・農村を支える人材育成

### ■農業研修生 就農計画立案の個別面談を実施

下呂市内には、来年4月の就農に向けて研修を行っている農業研修生が2名おり、指導農業士や関係機関等で支援を行っています。

昨年12月には、下呂市と農業普及課の共催で2名に対し青年等就農計画（以下「就農計画」という。）の作成説明会を開催しました。その後、農業研修生は就農計画の作成に着手しています。

2月5日には、農業研修生から農業普及課へ1回目の就農計画案が提出され、下呂市やJAの営農指導員と情報共有をしました。

農業普及課からは、検討してほしい事項などについて、電子メールやLINEで助言を行いました。また、3月8日には、就農計画をより具現化するため、面談による個別支援も行いました。

今後、農業普及課では、下呂市やJAの担当者などと連携し、農業研修生が円滑に就農できるよう就農計画の作成や栽培技術の習得などを支援していきます。（地域支援係）



【個別支援の様子】

### ■認定新規就農者 経営発展のために制度資金活用を支援

令和6年度に就農4年目となる認定新規就農者から経営規模拡大に伴う資金調達の相談がありました。

3月7日には、資金借入希望者と農業普及課、日本政策金融公庫岐阜支融資課担当者、岐阜県信用農業協同組合連合会営業部担当者及び下呂市農務課担当者とともに、青年等就農資金の活用に向けた打ち合わせ会を行いました。

資金借入希望者は直近2年間の決算書と経営改善資金計画書案を準備して打ち合わせ会に臨み、今後5年間の経営計画や資金活用の目的などについて、話しをしました。

公庫と信連担当者からは、経営計画や資金用途の詳細について聞き取りが行われ、資金が必要となる時期や償還計画についても助言がありました。

農業普及課からは、相談者の生産方法や下呂地域での生産状況について情報提供するとともに、収入保険の加入により農業経営の継続に備えることも助言しました。

今後、農業普及課では、関係機関との情報共有・連携を図り、資金借入希望者の経営発展を支援していきます。（地域支援係）



【制度資金打ち合わせ会の様子】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■フランネルフラワー 目揃い会が開催される

3月8日、下呂市馬瀬の清流ふれあい会館において、ぎふフラワー研究会のフランネルフラワー目揃い会が開催されました。

切花フランネルフラワーは現在、年間約20万本が出荷されており、花持ちの良さ等から市場から高い評価を得ています。

目揃い会には、フランネルフラワーを取り扱っている市場8社を招き、各市場から販売情勢の提供がありました。また、目揃え会では、生産者と市場関係者が活発に意見交換を行いながら、出荷規格の決定が行われました。

今後、農業普及課では、市場が求めているフランネルフラワーを多く出荷できるよう、生産者に対し肥培管理や病害虫防除等の指導を行います。



【目揃え会の様子】

（地域支援係）